

ガス機器の点検

ガス機器は定期的にお手入れを。

取扱説明書をよく読み、安全な使用や日常管理の方法を確認しましょう。
ガス機器や給排気設備は、ときどき清掃、点検しましょう。

暖房機器



機器背面にあるエアフィルターを定期的にお掃除しましょう。

テーブルコンロ



バーナーが目詰まりしないよう、時々器具ブラシなどでお掃除しましょう。

小型湯沸器



小型湯沸器の上部(防熱板の下)に汚れや詰まりがないかチェックしましょう。汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消えてしまう場合は、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください(有償)。



ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。



排気筒(煙突)

地震・台風・強風・大雨・大雪のあとは、排気筒(煙突)のはずれや、壊れがないかどうか確認してください。

排気筒(煙突)内に鳥が巣を作っていませんか?

排気筒(煙突)のはずれ、穴あき、詰まりはありませんか?

給気口がふさがっていませんか?



いずれも放置しておく、ガス機器が正常に燃焼しない、あるいは排気が室内に流入するなどして、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 異常を見つけた場合は、ただちに使用を中止し、河内長野ガスまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。
- 隠ぺい部に設置されている排気筒(煙突)も点検してください。腐食により穴が開いたりはずれたりすると、排気が室内に入り込み、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。